

一人のつながりをひろう!

一人の課題を
みんなの課題に!

一人ひとりが
市民社会づくりに参加!

ボランティア・市民活動コーディネーター養成講座

～受け止め、つなぎ、整え、つくる～

地域の課題やニーズを発見し、受け止め、地域の資源(情報・人・場所など)をつなぎ、地域での生活を支えるしくみや活動をつくり出し、すすめるためのしくみが必要です。その役割の人が必要とされています。当講座では地域、施設内でのコーディネート役になる人材を養成します。

日 程：平成25年6月11日(火)
～12月(全12回)

場 所：ふれあい福祉センターおよび各地区

参加費：全受講5000円
1回につき500円

申 込：6月7日(金)までに
電話もしくは来所のうえお申し込みください。

《お申し込み・お問い合わせ》 筑北村社会福祉協議会
TEL 66-2506

主催 社会福祉法人長野市社会福祉協議会



平成25年度 ボランティア・市民活動コーディネーター養成講座
～受け止め、つなぎ、整え、つくる～

回	No.	日程・会場	テーマ	内容	講師等
基礎	1	6月11日(火) 10:00～16:00 信州大学工学部 サステック会議室	地域福祉の基本を学ぶ 【高める】	これからの地域福祉のあり方に関する地域福祉施策の方向を把握し、地域福祉の今日的な課題と視点を学びます。	市川 一宏氏 ルーテル学院大学 学長
	2	6月29日 10:00～16:00 30日 9:30～12:30 柳原公民館	傾聴の基本を学ぶ 【受けとめる】	普段の生活の場面でも必要な話を聴く姿勢を学びます。 概論とロールプレイ	末松 渉氏 臨床心理士 元東京いのちの電話事務局長
	3	7月11日(木) 10:00～16:00 かがやき広場中条	お互いさまの関係づくり 【受けとめる・つなぐ 高める】	自分と相手、お互いを大切にしながら、円滑な関係づくりをし、多様な人々と意見を交わしながら地域づくりをすすめるうえでも着けたい力を身につけます。	内山 二郎氏(予定) 長野市ボランティアセンター運営委員長 フリージャーナリスト
応用	4	8月6日(火) 予定	ボランティアとは ボランティアの価値と 果たすべき役割 【求める・つなぐ・高める】	ボランティアをどのようにとらえるのか、社会におけるボランティアの役割やボランティア・市民活動について学びます。	筒井 のり子氏 日本ボランティアコーディネーター協会 龍谷大学教授
	5	8月7日(水) 予定	相談援助・コーディネートする 【受け止める・つなぐ 創りだす】	地域課題・個人的課題を解決するために、多様な分野をつなぎコーディネート力を学びます。	筒井 のり子氏 日本ボランティアコーディネーター協会 龍谷大学教授
	6	8月下旬～9月	まちの縁側実践講座 【求める・集める・創りだす】	人、モノ、コトがゆるやかにつながり合う地域の居場所を発見したり、つくり出したりしながらコミュニティ再生への静かなムーブメントを各地に広げるのが縁側づくり。講座では地域を歩きながら、単に場所や空間のみならず、ヒトとの出会いや楽遊や、食や音などさまざまなモノやコトが行き交う共生の場を探したり、見つけ、ゆるやかにつながりあう地域の居場所を増やします。要援護者の発見や孤立する人が人とつながり合い地域に溶け込んでいくような居場所としても発展します。	延藤 安弘氏(予定) NPO法人まちの縁側育み隊 代表理事
	7	10月	気づく力を身につける 【求める・集める・高める】	日常生活のさまざまな場面で、課題に気づく力、また気になることを共有の課題にしていく必要性を学びます。	小林 博明氏(予定) (社)長野県社会福祉協議会
	8	12月	プログラム開発 ボランティア活動・地域活動 の開発 【集める・創りだす 発信する】	課題解決のためのプログラムづくりを学びます。地域や職場の会議でとりあげられる様々な課題(例えば高齢者の安否確認や、孤立予防、雪かきの課題等)の解決に向けて、自ら実践するプログラムづくりを学びます。また、会議だけではなかなか進まない課題も、講座という時間を使って検討することで、新しい糸口が見えてきます。	山崎 富一氏(予定) NPO笑顔せたがや事務局長
オプション講座	9	8月24(土) 25(日)	住民ディレクター 【見つける・創りだす 発信する】	カメラを通して地域や人に目を向け、地域資源や課題の発見、情報発信につなげます。 デジカメで動画を撮り番組にするプロセスも学びます。	岸本 晃氏 樹ブリズム
	10	9月13日(金)	地域回想法を学ぶ 【受け止める・つなぐ】	モノやことがらを介在させて、つながりをつくり、コミュニティの再生や人との関係づくりのきっかけとして回想法を学びます。回想法を学ぶことで施設、訪問活動で参加者や要援護者とのかわり方に活かします。また地域の文化、歴史のような社会資源を活かすきっかけづくりになります。	シルバー総合研究所 講師(予定)
	11	10月	住民支えあいマップの 手法 【集める・つなぐ・創りだす】	住民から直接聞いた情報をもとに支えあいマップを作成します。マップ(地図)を通して、地域における要援護者の支え方を考えます。地域の様子や、人のつながり、集落の特性、何気なく行っている慣習や伝統行事なども資源として見えてきます。	片桐 美登氏(予定) (社)駒ヶ根市社会福祉協議会
	12	11月	コミュニティーソーシャルワーク 【受け止める・集める 創りだす・高める】	地域生活で課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、その地域の生活環境の整備や住民の組織化等の地域支援を、チームで統合的に展開していく方法を学びます。本講座は福祉課題への関係者のネットワークづくりにも役立ちます。	未定

* 講師の都合により変更がある場合があります。ご了承ください。